

令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果

草津市教育委員会
令和7年2月26日

調査の目的

- ・全国的な子どもの体力の状況を把握・分析して、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・子どもの体力向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- ・学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

調査対象

小学校調査 市内公立小学校5年生 1,409人
中学校調査 市内公立中学校2年生 1,113人

調査期間 令和6年5月～7月

調査内容

①実技に関する調査（8種目）
握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、
20mシャトルラン／持久走（※1）、50m走、立ち幅跳び、
ソフトボール投げ／ハンドボール投げ（※2）
※1 中学校調査では、どちらかを選択
※2 小学校ではソフトボール投げ、中学校ではハンドボール投げを実施

②運動習慣等に関する質問紙調査

- ・児童生徒に対する調査
(例) 運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きですか。
- ・学校に対する調査
(例) 教師は体力向上に関する校内外の研修や研修会に参加し、自校の体力・運動能力の向上に係る取組に反映していますか。

調査結果〈概要〉

- 実技に関する調査の結果では、中学生男子が3年連続で合計得点が向上しました。
 - 小学生男子、中学生男子は、体力合計得点が県および全国平均を上回っています。
 - 小学生女子、中学生女子は、合計得点が減少し、全国平均に及びませんでした。
 - 質問紙調査において、「運動やスポーツが好き」と回答した子どもの割合は、小学生男子と中学生女子で増加しました。
- ※令和2年度は調査が実施されませんでした。

1. 調査結果の分析

(1) 実技種目 調査の分析

小学生男子 … 令和5年度と比較し記録が低下、全国平均を上回りました。
 小学生女子 … 令和5年度と比較し記録が低下、全国平均には及びませんでした。
 中学生男子 … 令和5年度と比較し記録が向上、全国平均を上回りました。
 中学生女子 … 令和5年度と比較し記録が低下、全国平均には及びませんでした。

	市	国	県
小5男子	53.12	52.53	51.86
小5女子	53.15	53.92	52.23

	市	国	県
中2男子	43.31	41.86	42.15
中2女子	46.51	47.37	46.93

〈経年変化〉

資料①

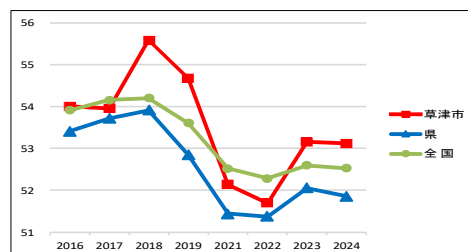
実技調査結果(市・県・全国比較)【体力合計点】

草津市教育委員会

小学5年男子

	2016	2017	2018	2019	2021	2022	2023	2024
草津市	54.01	53.96	55.59	54.68	52.14	51.70	53.16	53.12
県	53.41	53.72	53.92	52.85	51.44	51.38	52.06	51.86
全国	53.92	54.16	54.21	53.61	52.52	52.29	52.60	52.53

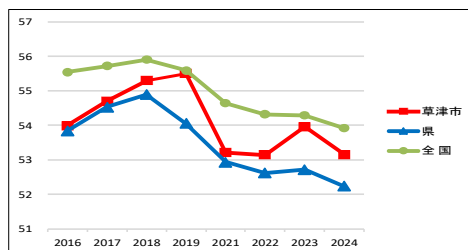
滋賀県							
2016	2017	2018	2019	2021	2022	2023	2024
32位	30位	29位	37位	44位	43位	39位	41位



小学5年女子

	2016	2017	2018	2019	2021	2022	2023	2024
草津市	53.99	54.70	55.30	55.50	53.21	53.14	53.96	53.15
県	53.84	54.53	54.89	54.05	52.93	52.62	52.71	52.23
全国	55.54	55.72	55.90	55.59	54.64	54.32	54.29	53.92

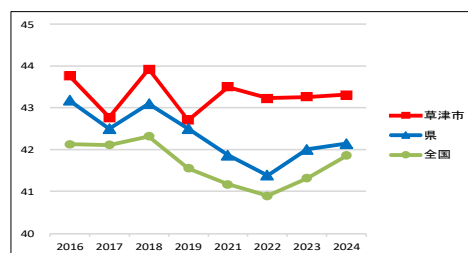
滋賀県							
2016	2017	2018	2019	2021	2022	2023	2024
45位	39位	39位	44位	44位	46位	45位	47位



中学2年男子

	2016	2017	2018	2019	2021	2022	2023	2024
草津市	43.76	42.77	43.92	42.70	43.50	43.23	43.26	43.31
県	43.18	42.50	43.10	42.50	41.87	41.39	42.01	42.15
全国	42.13	42.11	42.32	41.56	41.18	40.90	41.32	41.86

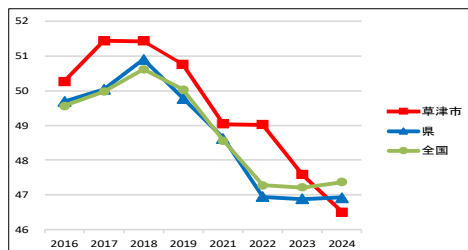
滋賀県							
2016	2017	2018	2019	2021	2022	2023	2024
14位	21位	17位	13位	21位	25位	20位	28位



中学2年女子

	2016	2017	2018	2019	2021	2022	2023	2024
草津市	50.26	51.43	51.42	50.75	49.04	49.02	47.59	46.51
県	49.69	50.04	50.90	49.78	48.63	46.95	46.89	46.93
全国	49.56	49.97	50.61	50.03	48.56	47.28	47.22	47.37

滋賀県							
2016	2017	2018	2019	2021	2022	2023	2024
22位	21位	22位	30位	33位	38位	38位	37位



©「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」による
 ※令和2年度は調査が実施されませんでした。

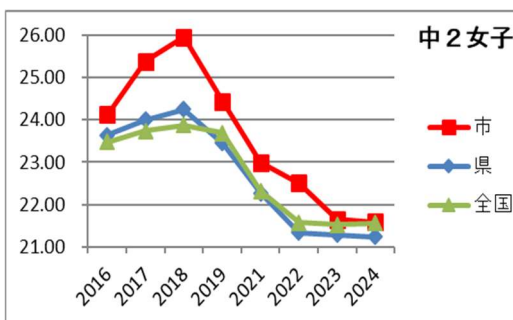
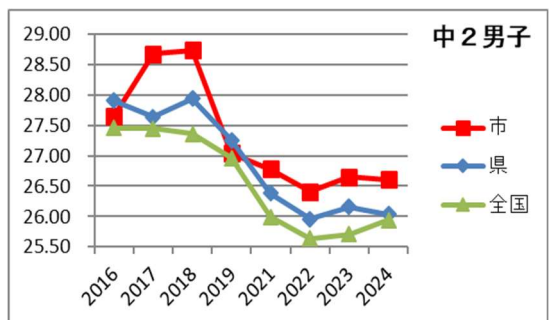
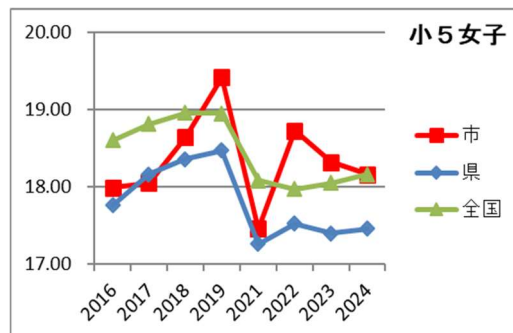
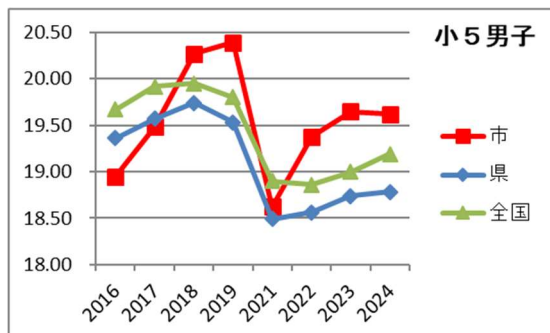
〈結果の一部〉

実技は

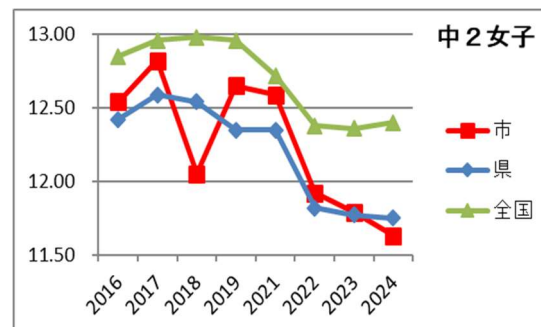
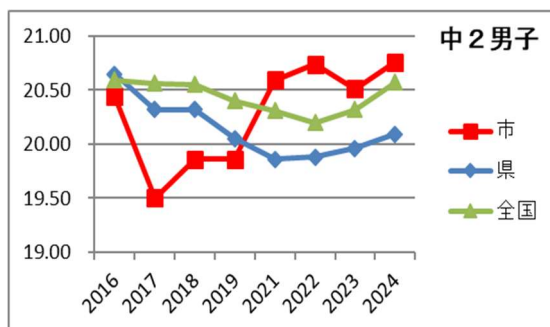
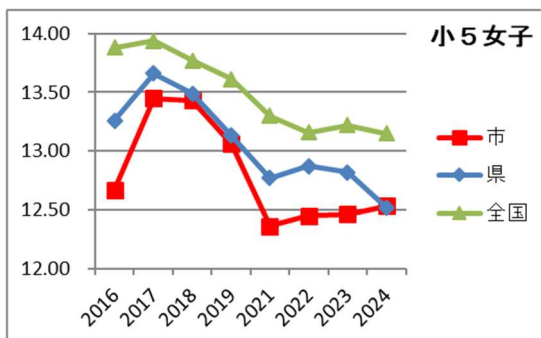
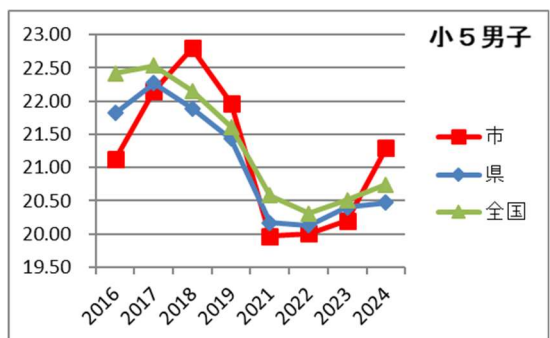
握力・上体起こし・長座体前屈・反復横跳び・20m シャトルラン(持久走)
50m 走・立ち幅跳び・ソフトボール(ハンドボール)投げ の8種目 たび！



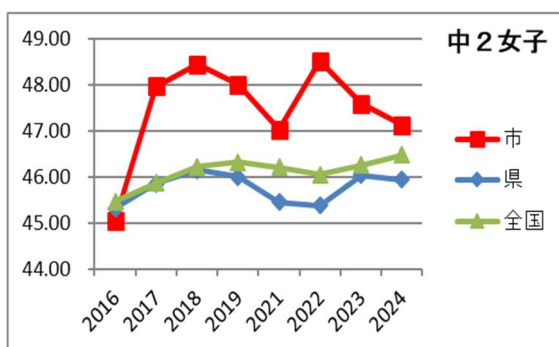
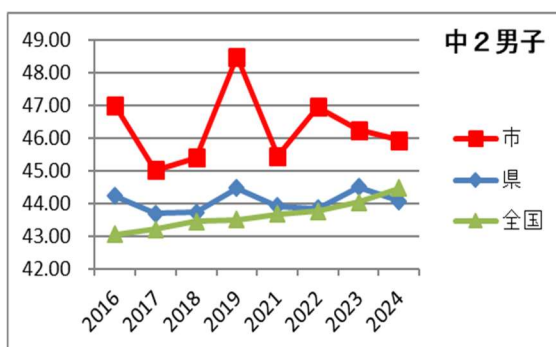
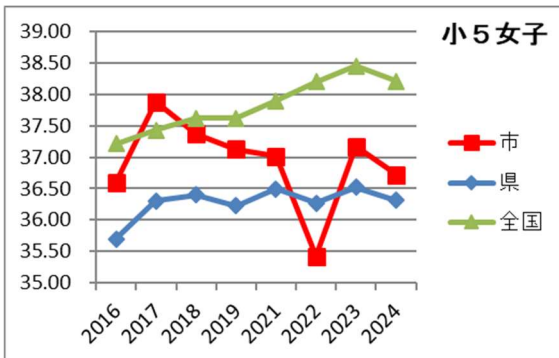
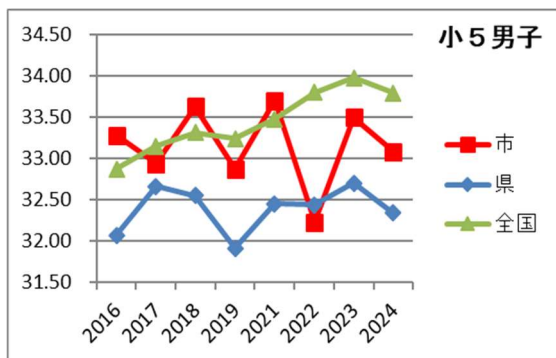
- ・上体起こし（回）：小中男女ともに全国平均以上のもの



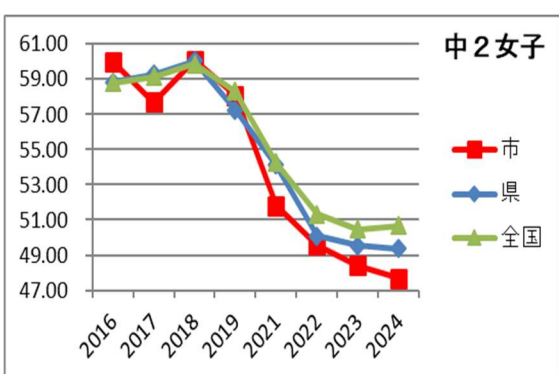
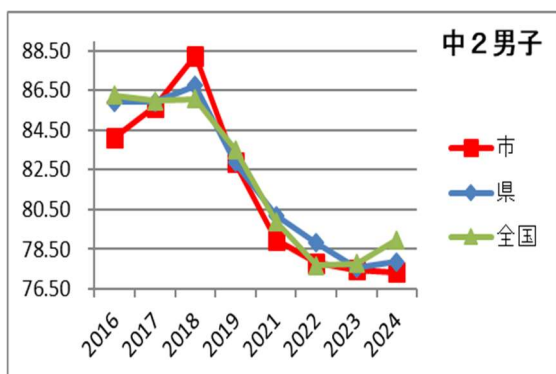
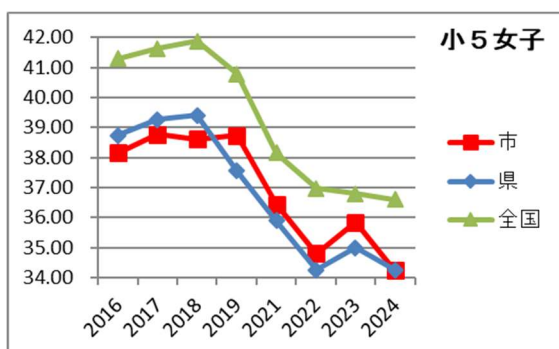
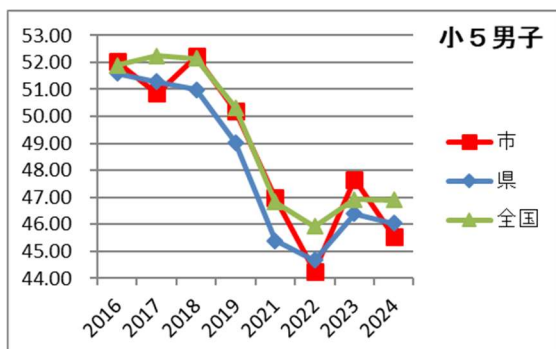
- ・ソフトボール投げ・ハンドボール投げ（単位はm）：小中男子で記録が伸びたもの



- ・長座体前屈（c m）：中学校男女で全国平均を連続で上回ったもの



- ・20mシャトルラン（回）：記録が下がり、小中男女ともに全国平均に及ばなかったもの

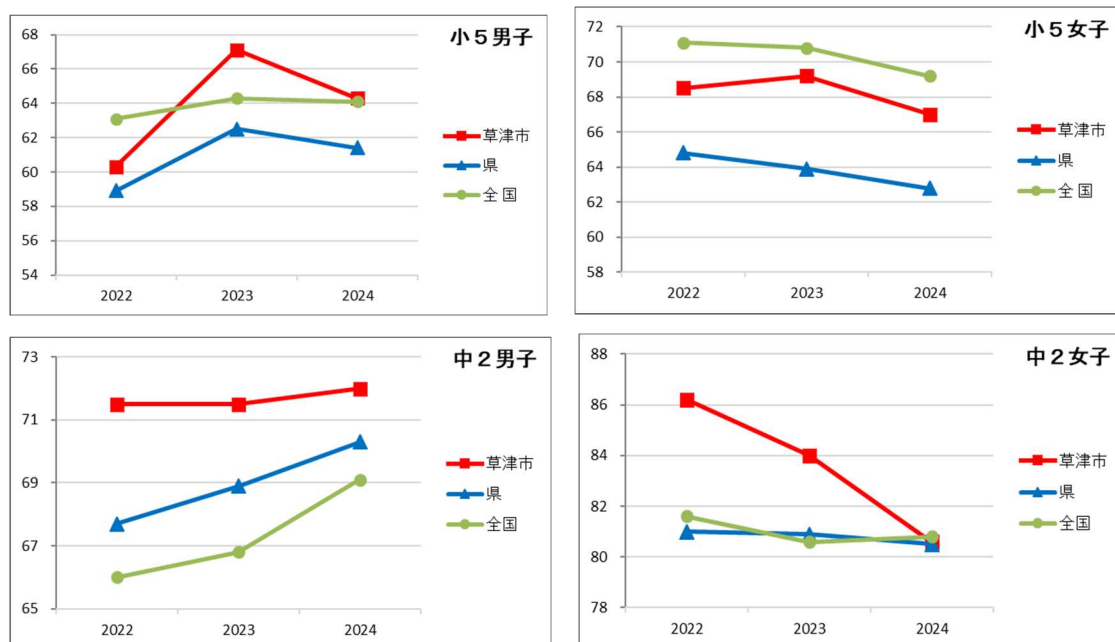


日頃から運動する習慣が大切だね！



- ・体力合計得点による総合評価 A～C に該当する児童生徒割合（％）

（総合評価）：8種目の体力テストをすべて実施した場合、体力テスト合計得点の良い方からABCDEの5段階で評定した体力の総合評価



〈調査結果まとめ〉

- 小学生男子は体力合計点において、記録は下がったものの全国平均を上回りました。
- 中学生男子は体力合計得点が向上し、県および全国平均を上回りました。
- 上体起こし（筋パワー、筋持久力）について、令和5年度から記録が下がったものの、小学生男女、中学生男女ともに全国平均以上の記録でした。
- 小学生男女、中学生男子はソフトボール投げ・ハンドボール投げ（巧緻性、投球能力）について、令和5年度と比較して、記録の伸びが見られました。中学生女子は記録が低下しました。男子は小中学生共に全国平均を上回りました。
- 中学生男女ともに長座体前屈は、記録はさがったものの、7年連続で全国平均を上回りました。
- 実技8種目の総合評価（A～E）のうち、「A～C」の児童生徒割合について、小学生男女、中学校女子は低下しました。中学生男子の割合は上昇し、全国の平均よりも高い割合でした。

〈課題〉

- 小学生中学生男女で20mシャトルラン（全身持久力）について、記録の低下が見られ、いずれも全国平均に及びませんでした。
- 中学生女子は8種目中6種目、小学生女子は8種目中5種目で全国平均に及びませんでした。

(2) 児童生徒質問紙調査の結果

- ①質問紙調査のうち、「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目では、小学生男子で「好き」と回答する割合が令和4年度から上昇傾向にあり、令和5年度から連続して全国・県平均を上回りました。小学生女子および中学生男子は割合が低下し、県および全国平均に及びませんでした。

	市	国	県
小5男子	74.0	73.0	73.5
小5女子	49.6	54.8	50.3

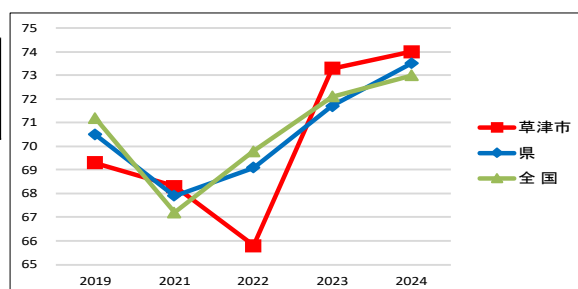
	市	国	県
中2男子	58.8	65.5	59.0
中2女子	38.0	43.2	38.0

質問紙調査結果【好き・楽しいと回答した割合(%)】

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか？

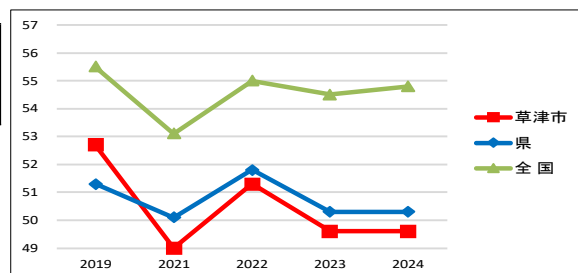
小学5年生男子

	2019	2021	2022	2023	2024
草津市	69.3	68.3	65.8	73.3	74.0
県	70.5	67.9	69.1	71.7	73.5
全国	71.2	67.2	69.8	72.1	73.0



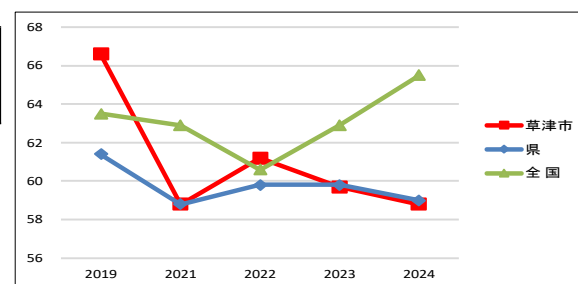
小学5年生女子

	2019	2021	2022	2023	2024
草津市	52.7	49.0	51.3	49.6	49.6
県	51.3	50.1	51.8	50.3	50.3
全国	55.5	53.1	55.0	54.5	54.8



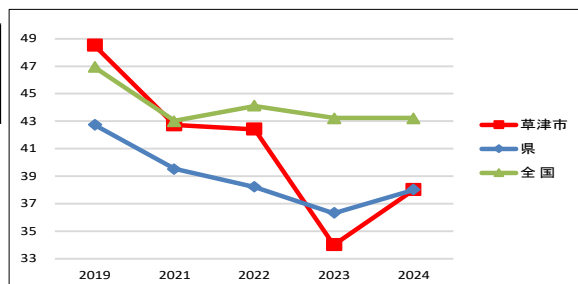
中学2年生男子

	2019	2021	2022	2023	2024
草津市	66.6	58.8	61.2	59.7	58.8
県	61.4	58.8	59.8	59.8	59.0
全国	63.5	62.9	60.6	62.9	65.5



中学2年生女子

	2019	2021	2022	2023	2024
草津市	48.5	42.7	42.4	34.0	38.0
県	42.7	39.5	38.2	36.3	38.0
全国	46.9	43.0	44.1	43.2	43.2



②テレビやパソコン、スマートフォン等を見ている「スクリーンタイム」は、全国平均と比べ、中学生男子と小中学生女子において1日4時間以上の割合が高いことがわかりました。また、男子は小中学生ともに昨年度に比べるとスクリーンタイム4時間以上の割合が低下しました。

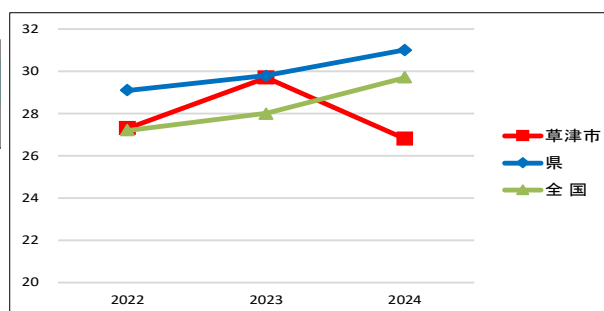
(%)

質問紙調査結果【スクリーンタイム】

スクリーンタイム4時間以上の児童生徒の割合

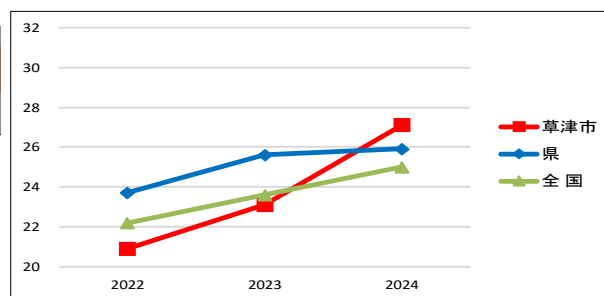
小学5年生男子

	2022	2023	2024
草津市	27.3	29.7	26.8
県	29.1	29.8	31.0
全国	27.2	28.0	29.7



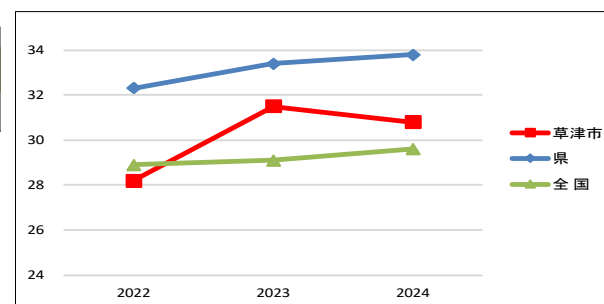
小学5年生女子

	2022	2023	2024
草津市	20.9	23.1	27.1
県	23.7	25.6	25.9
全国	22.2	23.6	25.0



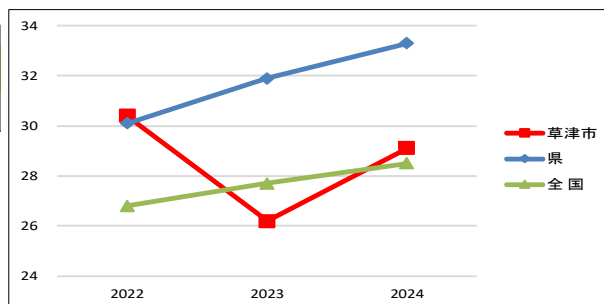
中学2年生男子

	2022	2023	2024
草津市	28.2	31.5	30.8
県	32.3	33.4	33.8
全国	28.9	29.1	29.6



中学2年生女子

	2022	2023	2024
草津市	30.4	26.2	29.1
県	30.1	31.9	33.3
全国	26.8	27.7	28.5



③体格についての状況調査から、全国平均と比べ、小中学生ともに肥満傾向の子どもの割合は低く、痩身傾向の子どもの割合が高いことがわかりました。(別紙資料①)

2. 運動習慣等に関する質問 調査分析

			調査結果のうち、特徴的なもの	調査結果から考えられること
1	運動への 愛 好 度	成 果	小学生では、男女ともに、「運動やスポーツが大切なものである」と考えている割合が令和4年度から全国平均を上回っている。	担任による体育科の学習や養護教諭等による保健指導の中で、運動習慣や体を動かすことの大切さを指導していることが子どもたちの意識向上につながっている。
		課 題	「運動やスポーツをすることが好き」と答える子どもの割合が、小学生男子以外は全国平均より低い。小学生女子で5.2ポイント、中学校では男女平均で5.9ポイント低い。	子どもが運動に親しむ機会を創出するとともに、既存の運動機会についてさらに充実させる必要がある。
2	生 活 習 慣	成 果	「朝食は毎日食べますか」への回答から、令和4年度に引き続き、全国平均と比較すると小学生の多くが、毎日『朝ごはん』を食べる生活習慣が身についている。	家庭生活中、基本的な生活習慣を身につけることを大切にしている保護者の意識が子どもたちに良い影響を与えている。
		課 題	「平日に学習以外で1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか」に、4時間以上と回答した割合が、中学生男子、小中学生女子で全国平均より高く、スクリーンタイムが長い傾向にある。 「1日にどのくらいの時間運動しますか」の質問に1日60分、週に420分以上運動する割合が小学生男女ともに令和5年度よりも高くなったが、小中学生男女ともに全国平均よりも低くなっている。	コロナ禍を経て、家庭での時間が増えた生活習慣に慣れたことにより、子どもたちが家庭で自由に過ごせる時間が増え、視聴時間が長く、運動時間が減った習慣が続いていることが考えられる。 家での過ごし方について、家族で話し合ったり、利用に関する約束を決めたりすることで、視聴時間を短くし、その時間に体を動かす習慣を身に付けていくことがのぞましい。
3	体 育（保 健 体 育）学 習	成 果	小学生男女ともに、体育（保健体育）の学習で目標（ねらい・めあて）を意識して学習に取り組んでいる。また、学習の振り返りを生かしている。 小学生男女ともに、体育の授業でタブレットなどのICTを使って学習することで、できたりわかったりしたことがある割合が全国平均より高い。	学習のめあてやねらいの提示・振り返りの時間を生かした学習が実施されている。 体育授業でのタブレットの効果的な活用ができた。効果的な活用方法についてさらに授業研究を進めている。
		課 題	中学生男女ともに「振り返る活動があることで、できたり、わかったりすることがある」の質問に肯定的に回答している割合が全国平均よりも4ポイント以上低い。	どの子ども達成感を味わえる授業展開の中で、子どもたちにできたことをフィードバックする時間を確保するため、研究・研修を進める必要がある。

3. 草津市スポーツ推進計画（第2期）の達成状況

基本方針1 子どもの体力向上とスポーツ活動の推進

※目標1は実技8種目各10点、合計80点での得点平均を示しています。

※目標2は質問に対して、強い肯定の項目「好き」「楽しい」と回答した子どもの割合を%で表示しています。

※R6の数値の下に矢印は、R5との比較を表しています。

目標1：実技種目の成績

〈目標値：小学生男女とも全国平均を上回る〉 〈目標年度：令和7年度〉 (点)

		R3	R4	R5	R6
小学5年生男子	市	52.14	51.70	53.16	53.12
	国	51.44	51.38	52.06	52.53
小学5年生女子	市	53.21	53.14	53.96	53.15
	国	54.64	54.32	54.29	53.92

●小学生は男女ともに合計得点が下がりました。

男子は目標である全国平均を超えていますが、女子は全国平均に及びませんでした。

令和7年度の目標達成に向け、体育科や保健体育科の授業改善等、体力向上に向けた取組を継続していきます。

【参考：中学生の成績】

		R3	R4	R5	R6
中学2年生男子	市	43.50	43.23	43.26	43.31
	国	41.18	40.90	41.32	41.69
中学2年生女子	市	49.04	49.02	47.59	46.49
	国	48.56	47.28	47.22	47.22

●中学生男子は令和5年度と比較し、合計得点が向上し、全国平均を上回りました。

中学生女子は令和5年度と比較し、合計得点が減少し、全国平均に及びませんでした。

中学生男女ともに総運動時間が全国より短く、女子においては全国との差が広がりました。

中学生男子は体力テストの総合評価A～Cの割合が増え、体力の高い生徒が増加しました。

中学生女子は総合評価Aの割合が昨年度より減少し、A、Bの割合が全国平均に及ばず、体力の高い生徒が減少しました。

目標2：運動やスポーツをすることが好きな子どもの割合

〈目標値：小学生男女とも全国平均を上回る〉 〈目標年度：令和7年度〉

(%)

		R3	R4	R5	R6
小学5年生男子	市	68.3	65.8	73.3	74.0
	国	67.2	69.8	72.1	73.0
小学5年生女子	市	49.0	51.3	49.6	49.6
	国	53.1	55.0	54.5	54.8

- 「好き」と強い肯定で回答した小学生男子の割合は上昇し、目標である全国平均を上回りました。小学生女子の割合は低下し、全国平均に及びませんでした。

こちらも令和7年度の目標達成に向け、子どもたちが運動やスポーツに親しむ機会の創出に継続的に取り組めます。

【参考：中学生の成績】

		R3	R4	R5	R6
中学2年生男子	市	58.8	61.2	59.7	58.8
	国	60.6	61.7	63.4	65.5
中学2年生女子	市	42.7	44.2	34.0	38.0
	国	43.0	44.1	43.2	43.2

- 中学生男子は、令和5年度と比較し低下し、全国平均に及びませんでした。

中学生女子は、令和5年度と比較し、向上しましたが、全国平均に及びませんでした。

保健体育科学習の充実に努め、小学生と同様に、子どもたちが運動やスポーツに親しむ機会の創出に継続的に取り組めます。

4. 調査結果を受けての今後の手立て

体育科・保健体育科学習の充実を図り、体力向上を目指します。

【結果分析より】

▶ 小学校

- ・体力合計点が全国平均を上回っている児童は、「1週間で420分以上（1日60分以上）」運動している傾向にあります。また、下の3つの質問項目においても、肯定的に回答している傾向が見られました。

「あなたにとって運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツは大切なものである。」

「目標を意識して学習することで、できたり、わかったりすることがある。」

「ICTを使って学習することで、できたりわかったりすることがある。」

- ・体力合計点が高く、1週間の総運動時間が長い児童ほど、体育授業の中で、「友だちと交流したり、協力できたりしたとき」「いろいろな種目を体験したとき」に楽しさを感じている傾向が見られました。

▶ 中学校

- ・男女ともに体力合計点が全国平均を上回った生徒は、下の質問項目において強い肯定で回答している傾向が見られました。

「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」

「あなたにとって運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツは大切なものですか。」

「中学校を卒業した後も、自主的に運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをする時間をもちたいと思いますか。」

- ・「どんなときに保健体育の授業が楽しいと感じますか」の質問項目において、競技することより、できるようになることに楽しさを感じる生徒が多くいることがわかりました。

▶ 小中学校共通

- ・市の体力合計点の平均について、小中学校共に20mシャトルラン（全身持久力）が昨年度より記録が下がり、全国平均に及びませんでした。
- ・体力得点が全国平均より高い実技種目と課題となる実技種目について、学校ごとで違いがありました。

【今後の手立てについて】

- ➡全身持久力を高めることを目指して、運動量を確保した体育授業を各学年で取り組みます。
- ➡各校が作成している「体力向上プラン」（小学校）、「体力向上のPDCAシート」（中学校）を見直し、各校の強みと弱みに合わせた具体的取組を決め、実践につなげます。

資料①

体格の状況

≪小学生男子≫

項目		草津市	全国
身長（c m）		139.70	139.54
体重（k g）		34.03	35.16
肥満傾向児・ 痩身傾向児の出現率 （％）	肥満	7.3	13.2
	普通	89.6	83.9
	痩身	3.0	2.9

≪小学生女子≫

項目		草津市	全国
身長（c m）		140.67	140.97
体重（k g）		34.16	34.92
肥満傾向児・ 痩身傾向児の出現率 （％）	肥満	7.4	9.5
	普通	88.4	87.3
	痩身	4.2	3.1

≪中学生男子≫

項目		草津市	全国
身長（c m）		161.37	161.34
体重（k g）		48.43	50.12
肥満傾向児・ 痩身傾向児の出現率 （％）	肥満	6.1	10.1
	普通	88.9	86.4
	痩身	4.9	3.5

≪中学生女子≫

項目		草津市	全国
身長（c m）		154.95	155.03
体重（k g）		44.27	46.77
肥満傾向児・ 痩身傾向児の出現率 （％）	肥満	1.8	6.7
	普通	89.5	88.8
	痩身	8.7	4.4